

様式 1 （主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	1-(2)-ウ	多様な主体による環境保全等に向けた活動の推進	施 策	①環境保全等に対する県民参画の推進
			施策の小項目名	○産学官の連携・協働ネットワークの構築及び指針や調査結果等の情報公開
主な取組	連携・協働ネットワークづくりの推進		対応する成果指標	環境啓発活動参加延べ人数
施策の方向	・県内の環境教育・環境保全活動に携わる県民、事業者、NPO、研究機関、行政が一体となった産学官の連携・協働ネットワークを構築し、各主体の情報交換や相互交流の場の創出に取り組むとともに、「生物多様性保全利用指針OKINAWA」や「レッドデータおきなわ」など県が策定した指針や調査結果を積極的に公開し、県民が容易にアクセスできるよう取り組むことで県民参画を促し、自然環境の保全等に関する計画づくりを推進します。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R7	R8	R9
県民等に対する環境教育を推進し、本県の豊かな自然環境を次世代に継承するため、「第2次沖縄県環境教育等推進行動計画」に基づき、庁内組織からなる幹事会と各種組織からなる協議会を設置して、進捗管理を行う。	県	環境教育等推進行動計画の進捗管理		
		環境教育等推進行動計画推進協議会の開催数(累計)		
		1回	1回(2回)	1回(3回)
担当部課【連絡先】	環境部環境再生課	【 098-866-2064 】	関連URL	—

様式 1（主な取組）

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況

予算事業名

環境教育行動計画等推進事業

主な財源

実施方法

R6年度
決算額

R7年度
決算見込額

県単等

直接実施

3,733

3,083

令和7年度活動内容

第2次沖縄県環境教育等推進行動計画の実施状況を取りまとめるとともに、協議会において進捗管理を行った。

予算事業名

環境教育行動計画等推進事業

R8年度

主な財源

実施方法

当初予算額

県単等

直接実施

7,417

令和8年度活動計画

第2次沖縄県環境教育等推進行動計画の実施状況を取りまとめるとともに、協議会において進捗管理を行う。

活動指標名

環境教育等推進行動計画推進協議会の開催数（累計）

R5年度

R6年度

実績値

—

—

R7年度

実績値 (A)

目標値 (B)

達成割合
A/B

1回

1回

100.0%

進捗状況

順調

活動概要

令和6年度の環境教育等推進行動計画の実施状況を取りまとめるとともに、庁内組織からなる幹事会及び学識経験者や民間団体等で構成される協議会において進捗管理を行った。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

令和6年度の各施策の取組結果をまとめるとともに、学識経験者・民間団体・県民・県や市町村等で構成される協議会を開催し進捗管理を行ったことから、目標1件に対し実績1件だったことから順調と判定した。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和7年度の取組改善案

反映状況

○本協議会を通じて、引き続き関係機関と環境教育に関する連携や情報共有を図るとともに、本計画に基づき、県内の環境教育・環境保全活動に携わる県民、事業者、NPO、研究機関、行政が一体となった産学官の連携・協働ネットワークづくりにも努める。

○本計画における令和6年度の実績をとりまとめ、協議会を開催して、本行動計画の進捗管理を適切に実施するとともに、同計画に基づき、環境保全活動団体交流イベントを開催し、県民、事業者等が一体となったネットワークづくりとなるよう情報交換や相互交流の場の創出に取り組んだ。

様式 1 （主な取組）



様式 1 （主な取組）

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
① 県の制度、執行体制（内部要因）	豊かな自然環境を次世代に継承するため、引き続き自然環境保全に対する県民参画の推進に努めるとともに、環境保全の重要性など環境問題に対する県民の意識向上に取り組む必要がある。	① 執行体制の改善	県民の脱炭素型ライフスタイルへの行動変容の促進及び定着を図るための取組を推進する。
④ 社会・経済情勢の変化（外部環境の変化）	持続可能な社会の担い手づくりに通じる環境教育の取組は、SDGsの観点からも、必要不可欠である。	② 連携の強化・改善	本協議会を通じて、引き続き関係機関と環境教育に関する連携や情報共有を図る。

様式 1 （主な取組）

「主な取組」 検証票

施策展開	1-(2)-ウ	多様な主体による環境保全等に向けた活動の推進	施 策	①環境保全等に対する県民参画の推進
			施策の小項目名	○産学官の連携・協働ネットワークの構築及び指針や調査結果等の情報公開
主な取組	生物多様性に係る情報公開の促進		対応する成果指標	環境啓発活動参加延べ人数
施策の方向	・ 県内の環境教育・環境保全活動に携わる県民、事業者、NPO、研究機関、行政が一体となった産学官の連携・協働ネットワークを構築し、各主体の情報交換や相互交流の場の創出に取り組むとともに、「生物多様性保全利用指針OKINAWA」や「レッドデータおきなわ」など県が策定した指針や調査結果を積極的に公開し、県民が容易にアクセスできるよう取り組むことで県民参画を促し、自然環境の保全等に関する計画づくりを推進します。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R7	R8	R9
生物多様性保全利用指針OKINAWAやレッドデータおきなわ及びおきなわ生物多様性情報プラットフォーム等の情報の公開及びデータを更新する。	県	生物多様性保全利用指針OKINAWAやレッドデータおきなわ等の情報の公開及びデータの更新		
		情報の公開及びデータの更新数(累計)		
		1回	1回(2回)	1回(3回)
担当部課【連絡先】	環境部自然保護課	【 098-866-2243 】	関連URL	https://www.okinawa-ikimono.com/

様式 1 （主な取組）

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況

予算事業名

生物多様性地域戦略事業

主な財源

実施方法

R6年度
決算額

R7年度
決算見込額

県単等

委託

4, 499

4, 505

令和7年度活動内容

おきなわ生物多様性情報プラットフォームを更新するなど情報発信に努め、生物多様性保全利用指針OKINAWA（正式版）を公開した。

予算事業名

生物多様性地域戦略事業

R8年度

主な財源

実施方法

当初予算額

県単等

委託

5, 577

令和8年度活動計画

おきなわ生物多様性情報プラットフォームを更新するなど情報発信を継続する。

活動指標名

情報の公開及びデータの更新数
(累計)

R5年度

R6年度

実績値

—

—

R7年度

実績値 (A)

目標値 (B)

達成割合
A/B

5回

1 回

100. 0%

進捗状況

順調

活動概要

おきなわ生物多様性情報プラットフォームを更新するなど情報発信に努め、生物多様性保全利用指針OKINAWA（正式版）を公開した。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

生物多様性情報プラットフォームの更新、生物多様性保全利用指針OKINAWA（正式版）を公開し、目標回数を達成したことから順調とした。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和7年度の取組改善案

○生物多様性保全利用指針OKINAWAが適切に利用されるよう、わかりやすい内容になっているかなど、公開内容を検討し、完成版を公開する。

反映状況

○生物多様性保全利用指針OKINAWAが適切に利用されるよう、補足資料も合わせて公開した。

様式 1 （主な取組）



様式 1 （主な取組）

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他内部要因 （改善余地の検証等）	環境保全等に対する県民参画の推進を行うためには、おきなわ生物多様性情報プラットフォームの更なる周知が必要である。	⑤ 情報発信等の強化・改善	県民向けにおきなわ生物多様性情報プラットフォームの周知を行う。

様式 1 （主な取組）

「主な取組」 検証票

施策展開	1-(2)-ウ	多様な主体による環境保全等に向けた活動の推進	施 策	①環境保全等に対する県民参画の推進
			施策の小項目名	○県民参画の仕組みづくり
主な取組	環境保全啓発事業（環境ボランティアマッチングの促進）		対応する成果指標	環境啓発活動参加延べ人数
施策の方向	・ 県内企業・団体・個人による環境保全活動の促進及びボランティア支援を推進するとともに、生物多様性の保全をはじめとする社会課題解決に多くの県民が参画できる仕組みの構築に取り組みます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R7	R8	R9
本県の環境教育の拠点である「沖縄県地域環境センター」のホームページ上で、環境保全活動を希望するボランティアと地域のニーズ(各種団体等の要望)をマッチングすることで、県民の環境保全活動への参画を促進する。	県	地域課題ニーズとボランティアのマッチングに係る実施状況を踏まえた環境ボランティアセンターの設置の検討		
		ボランティアマッチングの実施件数(累計)		
		20件	25件(45件)	30件(75件)
担当部課【連絡先】	環境部環境再生課	【 098-866-2064 】	関連URL	https://kankyo-center.okinawa/

様式 1 （主な取組）

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況

予算事業名	地域環境センター等管理運営等事業費			
主な財源	実施方法	R6年度 決算額	R7年度 決算見込額	
		県単等	委託	

令和7年度活動内容				
沖縄県地域環境センターのホームページ上で、環境保全活動団体等の情報発信を実施し、県民の環境保全活動への参画を促進した。				

(単位：千円)

予算事業名	地域環境センター等管理運営等事業費		
R8年度			
主な財源	実施方法		当初予算額
県単等	委託	18,597	

令和8年度活動計画	
沖縄県地域環境センターのホームページ上で、環境保全活動団体等の情報発信を実施し、県民の環境保全活動への参画を促進する。	

活動指標名	ボランティアマッチングの実施 件数（累計）		R7年度			進捗状況	活動概要
実績値	R5年度	R6年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
	—	—	22件	20件	100.0%	順調	沖縄県地域環境センターのホームページ上で、環境保全活動を希望するボランティアと地域のニーズ（各種団体等の要望）をマッチングするため、年間を通して、環境保全活動団体の活動情報等を発信した。

様式 1 （主な取組）

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
沖縄県地域環境センターのホームページ上で環境保全活動団体の活動情報等を発信したところ、450件の閲覧数があった。 閲覧数の5%について、環境保全活動を希望するボランティアと環境保全活動団体をマッチングできたとし、目標値20件に対し実績22件で進捗状況は順調であると判断した。 今後も継続して環境保全活動団体のマッチングのための情報発信を行う。	
(2)これまでの改善案の反映状況	
令和7年度の取組改善案	反映状況
○沖縄県地域環境センターのホームページを活用した情報発信を継続して行うとともに、対象者のニーズに合ったマッチングにつなげる。	沖縄県地域環境センターのホームページを活用した情報発信を年間を通して実施し、対象者のニーズに合ったマッチングにつながるよう取り組んだ。

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
① 県の制度、執行体制 (内部要因)	環境保全活動団体の活動情報等を発信し、県民の活動の輪を広げるため、沖縄県地域環境センターを中核とした事業を継続して実施する必要がある。	② 連携の強化・改善	沖縄県地域環境センターのホームページを活用して環境保全活動団体の情報発信を行うことで、対象者のニーズに合ったマッチングにつなげる。

様式 1 （主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	1-(2)-ウ	多様な主体による環境保全等に向けた活動の推進	施 策	②環境保全の意欲の醸成
			施策の小項目名	○保全利用協定の締結促進
主な取組	自然環境の保全利用協定締結推進事業		対応する成果指標	①沖縄県地域環境センターの来場者数（講習会受講者数を含む） ②①のうち教育委員会等と連携して実施する講習会受講者数
施策の方向	・環境保全型自然体験活動に係る事業者が、環境保全と利用に関するルールを事業者間で自主的に策定・締結する保全利用協定の締結促進に取り組みます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R7	R8	R9
適正な環境保全と利用に関するルールとしての保全利用協定に関し、締結地区および締結候補地区のサポートや保全利用協定制度の魅力向上を図る。	県	協定の締結支援、勉強会・制度説明会の開催		
		保全利用協定新規締結地区数（累計）		
		1地区	1地区（2地区）	1地区（3地区）
担当部課【連絡先】	環境部自然保護課	【 098-866-2243 】	関連URL	https://sustainable-tourism.okinawa/

様式 1 （主な取組）

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況

予算事業名

自然環境の保全利用協定締結推進事業

主な財源

実施方法

R6年度
決算額

R7年度
決算見込額

一括交付金
(ソフト)

委託

5,788

6,097

令和7年度活動内容

保全利用協定の新規締結に向けた会合やヒアリングの実施、既存の県知事認定地域の協定締結事業者向けにマッチングや補助金交付など通じた支援を行う。

予算事業名

自然環境の保全利用協定締結推進事業

R8年度

主な財源

実施方法

当初予算額

一括交付金
(ソフト)

委託

6,160

令和8年度活動計画

保全利用協定の新規締結に向けた調査・ヒアリングの実施や、認定区域での勉強会等の開催による支援、普及啓発グッズ作成等による認知度の向上を図る。

活動指標名

保全利用協定新規締結地区数
(累計)

R5年度

R6年度

実績値

—

—

R7年度

実績値 (A)

目標値 (B)

達成割合
A/B

0地区

1地区

0.0%

進捗状況

未着手

活動概要

保全利用協定の新規締結に向けてヒアリングや申請補助による支援を実施した。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

新規の保全利用協定を締結できなかったため、目標1地区に対し実績0地区となり、「大幅遅れ」と判断した。一方、新規ではなく継続による保全利用協定の締結については1地区締結に至った。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和7年度の取組改善案

反映状況

○ 観光事業者等や来訪者にも協定内容が認知されるよう、観光事業者等とのマッチングや協定締結事業者への補助金交付による協定締結地域の活動支援を通じて、協定制度の認知度向上を図る。

○ 観光事業者等とのマッチングや、その他の取組におけるイベントへの登壇（サステナブルツーリズムキックオフフェスタ座談会）により、協定制度の認知度向上が図られた。

様式 1 （主な取組）



様式 1 （主な取組）

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他内部要因 （改善余地の検証等）	観光事業者等が求めるマッチングは商談につながるものであるため、県民及び観光客等が協定制度を認知し締結地区内での取り組みを理解する必要があるため、さらなる認知度向上を図る必要がある。	⑤ 情報発信等の強化・改善	協定締結地区内での取り組みが県民や観光客等にも認知されるよう普及啓発を行い、保全利用協定制度の認知度の向上を図る。

様式 1 （主な取組）

「主な取組」 検証票

施策展開	1-(2)-ウ	多様な主体による環境保全等に向けた活動の推進	施 策	②環境保全の意欲の醸成
			施策の小項目名	○環境保全意欲の醸成に向けた環境教育の充実
主な取組	環境保全啓発事業（出前講座等による環境保全活動の促進）		対応する成果指標	①沖縄県地域環境センターの来場者数（講習会受講者数を含む） ②①のうち教育委員会等と連携して実施する講習会受講者数
施策の方向	・環境保全活動の啓発に向けて、広く県民を対象とした「おきなわ環境教育プログラム集」の普及・活用等を推進するとともに、学校教育においては、自然環境に親しむための体験学習や総合学習等を通して、次代を担う子どもたちの環境保全の意欲の醸成に取り組みます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R7	R8	R9
本県の環境教育の拠点である「沖縄県地域環境センター」において、県民の環境保全意識の向上を図るための環境情報の発信や各種環境保全啓発活動を実施する。	県	沖縄県地域環境センターによる環境保全普及啓発活動の実施		
		出前講座等の活動回数（累計）		
		72回	74回（146回）	76回（222回）
担当部課【連絡先】	環境部環境再生課	【 098-866-2064 】		関連URL https://kankyo-center.okinawa/

様式 1（主な取組）

2 取組の状況（Do）

(1) 取組の進捗状況

予算事業名

地域環境センター等管理運営等事業費

主な財源

実施方法

R6年度
決算額

R7年度
決算見込額

県単等

委託

18,116

18,590

令和7年度活動内容

沖縄県地域環境センターにおいて環境情報の発信や各種環境保全啓発活動を実施した。

予算事業名

地域環境センター等管理運営等事業費

R8年度

主な財源

実施方法

当初予算額

県単等

委託

18,597

令和8年度活動計画

沖縄県地域環境センターにおいて環境情報の発信や各種環境保全啓発活動を実施する。

活動指標名

出前講座等の活動回数（累計）

R7年度

進捗状況

活動概要

実績値

R5年度

R6年度

実績値 (A)

目標値 (B)

達成割合
A/B

—

—

71回

72回

98.6%

順調

沖縄県地域環境センターにおいて、県内全域を対象に学校や地域等での出前講座や自然観察会、啓発イベント等の環境保全啓発活動を年間を通して実施した。また、センターのHP情報誌で環境情報を発信した。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

沖縄県地域環境センターにおいて出前講座や自然観察会、啓発イベント等の各種啓発活動を71回開催し、環境学習・体験活動の機会を提供した。また、HPや情報誌等で環境教育プログラムの活用例の紹介、体験活動・体験イベント参加の呼びかけ、こどもエコクラブの活動の紹介を行うなど、環境情報を発信したことから順調と判定した。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和7年度の取組改善案

反映状況

“〇対象者のニーズや満足度等を把握するため、アンケート調査等を行い、各種啓発活動の向上につなげる。
〇啓発活動については、対象者のニーズや社会情勢を踏まえて柔軟に取り組む。”

“・出前講座終了後に、アンケート調査等を実施し、その回答を踏まえ環境普及啓発活動の向上を図った。
・効果的な啓発活動とするため、環境教育プログラム集を活用した講座のほか、学校機関等の要望を事前に取り入れた上で、目的に沿った出前講座を開催した。”

様式 1 （主な取組）



様式 1 （主な取組）

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
① 県の制度、執行体制（内部要因）	地域に根差した啓発活動を展開するためには、沖縄県地域環境センターを中核とした事業を継続して実施する必要がある。	① 執行体制の改善	対象者のニーズや満足度等を把握するため、引き続き、アンケート調査等を行い、各種啓発活動の向上につなげる。
④ 社会・経済情勢の変化（外部環境の変化）	啓発活動については、開催形態の多様化（リモートやオンライン開催等）や社会情勢を踏まえ継続して取り組む必要がある。	⑥ 変化に対応した取組の改善	啓発活動については、引き続き、対象者のニーズや社会情勢を踏まえて柔軟に取り組む。

様式 1 （主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	1-(2)-ウ	多様な主体による環境保全等に向けた活動の推進	施 策	②環境保全の意欲の醸成
			施策の小項目名	○環境保全意欲の醸成に向けた普及・啓発
主な取組	ちゅら島環境美化促進事業（普及啓発）		対応する成果指標	①沖縄県地域環境センターの来場者数（講習会受講者数を含む） ②①のうち教育委員会等と連携して実施する講習会受講者数
施策の方向				・ごみのポイ捨て・不法投棄の防止、海浜の節度ある利用等について、広く県民の環境保全意欲の醸成に取り組めます。

1 取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R7	R8	R9
空き缶や吸い殻等の散乱を防止し環境美化の促進を図ることを目的として、行楽シーズンや12月の年末大清掃の時期に合わせて、メディア、イベント等を活用した県民への普及啓発を図る。	県	環境美化に関する県民意識向上のための普及啓発活動等の実施		
		環境美化に関する啓発活動の実施数（累計）		
		2回	2回（4回）	2回（6回）
担当部課【連絡先】	環境部環境整備課	【 098-866-2231 】		関連URL https://www.pref.okinawa.jp/kurashikankyo/kankyo/1004439/1004440.html

様式 1 （主な取組）

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況

予算事業名

ちゅら島環境美化促進事業

主な財源

実施方法

R6年度
決算額

R7年度
決算見込額

県単等

直接実施

743

2, 980

令和7年度活動内容

ちゅら島環境美化全県一斉清掃及びその他のイベントと併せて広報活動を行い普及啓発活動を実施した。

予算事業名

ちゅら島環境美化促進事業

R8年度

主な財源

実施方法

当初予算額

県単等

直接実施

2, 777

令和8年度活動計画

ちゅら島環境美化全県一斉清掃及びその他のイベントと併せて広報活動を行い普及啓発活動を実施する。

活動指標名

環境美化に関する啓発活動の実施数（累計）

R5年度

R6年度

実績値

—

—

R7年度

実績値 (A)

目標値 (B)

達成割合
A/B

3回

2 回

100. 0%

進捗状況

順調

活動概要

環境美化に関する啓発イベントについては、県民ホール及び県立図書館でパネル展を開催するとともに、11月の「県民環境フェアinなは」でも普及啓発を行った。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

環境美化に関する啓発イベントについては、促進月間にあわせ県民ホール及び県立図書館においてそれぞれパネル展を開催するとともに、11月の「県民環境フェアinなは」でも普及啓発を行い、合計3回の実績となったため進捗状況を順調と判定した。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和7年度の取組改善案

反映状況

○ 各種イベント等については、多くの県民へ関心を持ってもらえるよう、県民ホールや県立図書館以外の場所でも実施する等の場所を検討するほか、啓発内容についても工夫して実施していく。

7月の促進月間において、県民ホール及び県立図書館でパネル展を開催したほか、多くの県民に関心を持ってもらえるよう、11月の「県民環境フェアinなは」でも普及啓発を行った。

様式 1 （主な取組）



様式 1 （主な取組）

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他内部要因 （改善余地の検証等）	実施している各種イベント等において、多くの県民に関心を持ってもらえるよう、ただ「見る」だけで終わらず、具体的な行動変容のきっかけとなる工夫が必要である。	④ 創意工夫による取組の改善（合理化・効率化）	各種イベント等においては、リーフレットやノベルティの配布を通じてパネルへの関心を高め、多くの県民の行動変容を促す取組を展開する。

様式 1 （主な取組）

「主な取組」 検証票

施策展開	1-(2)-ウ	多様な主体による環境保全等に向けた活動の推進	施 策	②環境保全の意欲の醸成
			施策の小項目名	○環境保全意欲の醸成に向けた普及・啓発
主な取組	県民参加型外来種防除の実施		対応する成果指標	①沖縄県地域環境センターの来場者数（講習会受講者数を含む） ②①のうち教育委員会等と連携して実施する講習会受講者数
施策の方向	・ ごみのポイ捨て・不法投棄の防止、海浜の節度ある利用等について、広く県民の環境保全意欲の醸成に取り組めます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R7	R8	R9
県民の外来種対策への参画を促進するため、県民参加型の外来種防除イベント等を開催する。	県	ツルヒヨドリ等外来種防除イベントの実施		
		外来種防除イベントの実施回数（累計）		
		3回	3回（6回）	3回（9回）
担当部課【連絡先】	環境部自然保護課	【 098-866-2243 】		関連URL —

様式 1 （主な取組）

2 取組の状況（Do）

(1) 取組の進捗状況

予算事業名

外来種対策事業

主な財源

実施方法

R6年度
決算額

R7年度
決算見込額

一括交付金
(ソフト)

委託

424, 608

351, 721

令和7年度活動内容

外来植物繁茂地域において、外来植物駆除イベントを開催した。また、グリーンアノール防除イベントを3回開催した。

予算事業名

外来種対策事業

R8年度

主な財源

実施方法

当初予算額

一括交付金
(ソフト)

委託

379, 670

令和8年度活動計画

外来植物駆除イベントを開催する。また、グリーンアノール防除イベントを2回開催する。

活動指標名

外来種防除イベントの実施回数
(累計)

R7年度

実績値 (A)

目標値 (B)

達成割合
A/B

進捗状況

活動概要

実績値

R5年度

R6年度

4回

3回

100.0%

順調

外来植物防除イベント1回に43名、グリーンアノール防除イベント3回に315名の参加があった。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

目標値3回に対して実績値4回であり、目標を達成したことから取組は順調に進捗している。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和7年度の取組改善案

反映状況

防除イベントにおいて外来種と在来種の特徴等に関する教育を実施するとともに、防除の表彰制度を取り入れ、より効率的な実施を図るなど、多様なイベントの開催や効果的な情報発信を行っていく。

より多くの参加者を集めるため、地元行政や地域、関係機関へ周知を図った。効果的な発信方法については、YouTubeチャンネルに外来種問題や外来種捕獲方法の動画を展開するとともに、事業で構築したウェブサイトを用いた。

様式 1 （主な取組）



様式 1 （主な取組）

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他内部要因 （改善余地の検証等）	多くの県民が本県の豊かな生物多様性を認識し、外来種対策の必要性について理解を深め、県民一丸となった取組に繋がっていくため、県民参加型の取組を充実させる必要がある。	④ 創意工夫による取組の改善（合理化・効率化）	防除イベントにおいて外来種と在来種の特徴等に関する教育を実施するとともに、防除の表彰制度を取り入れ、インセンティブを設けるなど、多様なイベントの開催や効果的な情報発信を行っていく。
⑤ 県民ニーズの変化 （外部環境の変化）	外来種対策意識の高い一般県民から、外来種を見つけた、外来種を捕獲した等の問い合わせが年間数十件ある。	⑤ 情報発信等の強化・改善	特設サイト「外来種.com」で、よくあるお問い合わせを充実するなど、普及啓発の取組を引き続き行っていく。